

平成22年度 京都市当初予算

1兆6,554億円

積極的に生活安心を支える

福祉、子育て重視

雇用、環境、まちづくり

2月市会定例会は、平成22年度予算や京都市商店街の振興に関する条例の制定、市バス・地下鉄事業経営健全化計画の策定など計122議案を可決し、3月19日に閉会しました。

今回の予算では、不況に伴う市税の史上最大の減収

(164億円)や生活保護費など社会福祉関係経費等の義務的経費の増加により財政の硬直化に拍車がかか

り、引き続き危機的な財政状況にある中、人件費の削減、事務事業の見直し、行政改革推進債の発行などにより財源を捻出しています。また、戸籍事務の電算化など一部事業について年次計画を見直し、一時凍結を行う一方で、保育所や特

別養護老人ホームなどの社会福祉施設の整備をはじめ重要度が増している施策について、できる限りの予算確保に努めたほか、産業・観光の活性化や新たな京都の魅力創出に資する事業についても積極的に予算化するなど、「生活安心・未来

予算に関し様々な提言も

街路樹を整備し、都市緑化を進める



へのトライ予算」として編成した今回の予算を自民党市会議員団としても一定評価

価しています。

また、「門川マニフェストの総仕上げに向けて更に前進する予算」として、特に4点(別表の通り)に重点が置かれていますが、これらの重要施策の多くは、自民党市会議員団が昨年10月に門川市長に提出した「平成22年度京都市予算及び今後の市政方針に対する要望書(要望項目157項目)」の趣旨がしっかりと反映されています。

自由民主党
京都市会
議員団ニュース

平成22年(2010)3月25日発行
■発行人/田中セツ子 ■編集長/下村あきら
〒604-8571 京都市中京区河原町御池
TEL.075(222)3718~23 FAX.075(257)3091
http://jimin-kyoto.jp/

No.30

トランジットモール化社会実験時の四条通



4つの重要施策と主な内容

- ①市民のいのちと暮らし、安心安全を支える施策並びに中小企業、地場産業の支援
 - ・保育所、児童館の整備
 - ・介護保険基盤整備助成
 - ・不況対策緊急融資、雇用促進支援融資の創設
 - ・学校施設の耐震化 など
- ②環境モデル都市としての地球温暖化対策、低炭素社会の構築
 - ・地球温暖化対策条例の改正及び新計画の策定
 - ・都市緑化の推進(街路樹整備)
 - ・平成の京町家の普及・促進に向けた住宅建設への助成 など
- ③人と公共優先の「歩いて楽しいまち」の実現と地下鉄・市バスの利用促進
 - ・四条通トランジットモール化に向けた社会実験の実施
 - ・京都駅南口駅前広場の整備計画策定
 - ・観光案内標識アップグレードプロジェクト など
- ④未来の京都への先行投資と新たな魅力の創出
 - ・次期京都市基本計画の策定
 - ・山ノ内浄水場跡地活用方針の策定
 - ・無電柱化事業の推進 など

予算規模内訳

一般会計	7687億円
特別会計	6145億円
公営企業会計	2722億円

自民党京都市会議員団は、厳しい京都市財政ではありますが、選択と集中の中、将来を洞察し持続可能な安定した行政運営が行われ、市民サービス、市民福祉の向上に貢献できているか見極め、様々な提言を通して、しっかりと京都市政を推進して参ります。

議員報酬の削減継続

減になります。

4面に自民党市会議員団が各行政区別に取り組み、実現された21年度の主な施策と事業を掲載しました。

これは、京都市が平成13年度に財政難から京都市財政非常事態宣言を発したことを発端に我々京都市会議員が自主的に削減を年々決定してきたもので、年間約3千900万円の節

京都市会議員の議員報酬の5%カットを来年度も継続することを決めました。

国家戦略で京都創生を

更なる協力を求め

伝統、文化の継承発展へ

井上与一郎議員 (右京区)

井上与一郎議員 (質問) 京

都市が有している他に類をみない日本古来の歴史的・文化的資産の保存・継承、そしてわが国の文化発展に寄与してきた京都の和装産業をはじめとする伝統産業、無形遺産である能楽や日本舞踊、邦楽などの振興に積極的に取り組むために、法制度や税制上の措置等を国に対して提案するなど、国に理解と協力を得て諸課題を克服しなければ京都の創生は到底実現しません。今後、どのように取り組まれるのかお尋ねします。

門川大作市長 (答弁) 日本

の貴重な歴史文化都市として高い評価を得ている京都の景観、伝統、文化を京都市のみならず国をあげてしっかりと継承・発展させ、世界に発信することが、京都創生の重要な使命であると認識しております。この間、産寧坂地区をはじめとする無電柱化の推進や

二条城の壁画修復などの成果を挙げて参りましたが、多くの課題があり、国の更なる理解・協力が不可欠です。

このため、本市の提案を受けて制定された歴史まちづくり法を有効活用し、更に重点的に取り組むべき政策を「国家戦略としての京都創生の提案」とし、国策としての取り組みの重要性を訴えて参りました。今後とも市民の皆様をはじめオール京都の力を結集

して、京都創生を推進するとともに、市会議員、国会議員の皆様方に大きなご支援をいただき、国に対しての働きかけをより強化し、「日本に京都があつてよかつた」「世界に京都があつてよかつた」と誰もが実感していただける取り組みを進めて参ります。

科学センターの次代のあり方は

井上与一郎議員 (質問) 青

少年科学センターは開設から40周年を迎え、その老朽化が懸念される中、今後の方向性について考える時期にきています。ご所見をお聞かせください。

高桑三男

教育長 (答

弁) 青少年

科学セン

ターは、子

どもたちの

科学への興

味・関心を

高めるため

極めて重要

であり、年

間15万人の

利用者が訪

れ、科学に



40周年を迎え次代への方向性が求められる青少年科学センター

総合的な対策を

一歩踏み込んだ取り組みを望む

津田大三議員 (中京区)

津田大三議員 (質問) 「少

津田大三議員の質問項目

- ・税に関する教育(担税教育)の推進
- ・子どもの携帯電話の利用環境に係る取り組み
- ・真の少子化対策
- ・「京都市未来こどもプラン(仮称)」の策定
- ・「子どもを共に育む京都市民憲章」の条例化
- ・「DO YOU KYOTO?」の取り組み
- ・四条通のトランジットモール化
- ・市庁舎整備の促進

「少子化」議論を深めて

「少子化」と「子育て支援」が一緒に議論されていますが、実際は別物です。「少子化」の問題は、未婚・晩婚や理想の子ども数がもてないことであり、解決には早婚の勧めや、

子育ての意義を伝えることが大事です。こういったものはプライバシーに踏み込むものでありますが取り組みをさせていただきます。

本市はじめ自治体においても、これまでから子育て支援を中心に、保健医療などの取り組みを進めてきましたが、少子化対策という視点では、もう一歩踏み込んだ取り組みが必要ではないかと考えており、例えば、結婚を望む若い世代に出会いの場を提供するなど、具体的にどういった取り組みが可能か、今後議論を深めて参ります。

(津田大三議員の質疑3面に続く)

井上与一郎議員の質問項目

- ・平成22年度予算編成
- ・地籍調査事業の推進
- ・国家戦略としての京都創生
- ・地下鉄、市バス事業の経営健全化計画
- ・「歩くまち・京都」総合交通戦略の推進
- ・市有地の活用による公園緑地の整備
- ・緑豊かな梅小路公園の再整備
- ・青少年科学センターの充実
- ・中山間地域の農業振興
- ・国道162号の整備
- ・京北地域の携帯電話用アンテナの設置

親しむ場として定着しています。更に、市民会議の提言を受け、科学系博物館との連携を図る協議会や企業・NPOが参画する京都科学屋台ネットワークを設置し、サイエンスフェスティバルや出前講座

など、広く科学に接する機会の拡充に努めてまいりました。また、来年度、各分野の専門家で構成する委員会を設置し、京都ならではの企業・大学が持つ先端技術等の導入、科学の楽しさや驚き、発

見など体験の拡充、環境に視点を置いた京都議定書発祥の地として、次代を見据えた科学センターのあり方を検討して参ります。

温暖化対策や新景観政策等の推進のため、新たな「京都市緑の基本計画」を策定中です。新計画では、緑地の保全及び緑化の推進のための具体的施策や都市公園の整備方針を定め、市民の皆様との共汗・協働により、大切な緑を、つくり、守り、育てて参りたいと考えております。市有地の活用は、本来の取得目的や新たな有効活用の方策など、多角的に検討を行い、地元の御要望や関係者の皆様の御理解と御協力をいただきながら、公園整備を進めて参りたいと考えております。

市有地有効活用 緑化と公園整備

井上与一郎議員 (質問) 「市

民ひとりあたりの公園面積」が低く、公園整備が遅れているところでは、市有地を有効活用し、緑化の拠点や公園緑地に整備することを積極的に検討されてはいかがでしょうか。

門川大作市長 (答弁) 地球



スチューデントシティで社会を体験、仕組みを学ぶ子どもたち

税に関する教育 〔租税教育の充実〕

〔津田大三議員の質疑続き〕

津田大三議員（質問）国が創設する「子ども手当」は一定の理解ができますが、財源に問題があります。主旨からすれば消費税で賄わなければならず、税控除の廃止も、税負担のしわ寄せが誰にいくかわからず不公平です。おかしな政策が出てくる背景には、税に対する国民の理解の乏しさにも原因があると思います。「子ども手当」のように

みんなで支えるものと、高速道路・道路特定財源のように受益者負担が望ましいものごちゃ混ぜになつています。税教育について考えるべきではないでしょうか。

門川大作市長（答弁）本市の小中学校では、社会や経済の仕組みを学ぶ「スチューデントシティ」「ファイナンスパーク事業」、また税務署はじめ、税務協会や税理士の協力による「租税教室」などを通じて、税の果たす役割等について学んでいます。「受益」と「負担」の在り方を主体的

に考える自覚を育てる意味からも、一層充実を図る必要があり、その推進に積極的に取り組んで参ります。

市庁舎建て替え 結論を急ぐ必要

津田大三議員（質問）市庁舎の建て替えについて新聞紙面に掲載され、様々な意見が出ていきましたが、建て替えについての結論はあるのでしょうか。何時までも議論をしても仕方が無く、財政の厳しい折、批判もあると思いますが、今の状況は見過ごせません。無

駄か無駄でないかは個人によつて判断が違います。最終的には市長の決断と我々議会の判断だと思います。市長の思いをお聞かせください。

星川茂一副市長（答弁）平成20年11月に、これ以上先送りせず実現に結びつけるという方針のもと、市庁舎整備懇談会を立ち上げ、精力的に議論をいただいているところです。今後、21度末にまとめられる予定の懇談会提言を踏まえ、22年度には整備計画を確定し、基本計画の策定等につなげて参ります。

の観光情報誌等による情報発信に加え、観光ゾーンに発行する案内リーフレットへの観光情報の掲載など、あらゆる機会を通して山科の魅力伝えて参ります。

山科区内の交通 利便性の向上を

吉井あきら議員（質問）「市バスが廃止される以前より不便になった」というお声

が後を断たず、市バスが走る行政区では当然受けられるサービスも、受けられない事もあります。何より市バスが廃止される十数年前に比べ、地下鉄が開通した現在の方が不便な地域が多いということは看過できません。改善を求めますがいかがが考えですか。

由木文彦副市長（答弁）新たな取り組みとして、民間活力を導入したバス停の上屋整備について、現在の市バス路線のみではなく、山科地域においてもその実現を図り、京阪バスや事業者と設置に向け、精力的に協議を進めていきます。また平成22年度は、区政策提案予算事業により、関係部局や関係機関、地元団体などで構成される「交通問題研究会」を設立し、地下鉄の増客につながることも視野に、区内の交通問題の解決に向けた対策を検討することとしていきます。

道徳教育の推進・充実

全教育活動通じて 独自の指導計画で充実

高桑三男教育長（答弁）本市では、「学校教育の重点」において、道徳教育の充実を柱として掲げ、独自の指導計画を作成し、教員の永年に関する研究・実践の成果である指導資料集「夢いっぱい」等を活用した指導を進め、道徳の時間はもとより全教育活動を通じて取り組んでおります。さらに来年度から実施校を大幅に拡大する小学校5年

吉井あきら議員（山科区）

吉井あきら議員（質問）子どもたちの道徳心・規範意識の育成に関する取り組みについて、本市がこれまで実践されてきたことに誇りを持ち、今後とも、決してぶれることなく、あらゆる教育活動を通じて取り組んでいただきたいと考えますがいかがですか。

高桑三男教育長（答弁）

市では、「学校教育の重点」において、道徳教育の充実を柱として掲げ、独自の指導計画を作成し、教員の永年に関する研究・実践の成果である指導資料集「夢いっぱい」等を活用した指導を進め、道徳の時間はもとより全教育活動を通じて取り組んでおります。さらに来年度から実施校を大幅に拡大する小学校5年

とともに保護者や地域の方が参加する市民ぐるみの道徳教育を推進しております。

山科の観光振興 陶灯路大々的に

吉井あきら議員（質問）地元老人クラブや「おこしやす」やましな協議会による取り組み、また、地元商店街による京山科なすがモデルのマスッコ

生を対象とした1週間の長期宿泊体験活動などの取り組みを通して、豊かな感性や感謝する心を培っております。また、「道徳教育振興市民会議」を設置、市民アンケートをもとに最終提言をふまえ、学校

吉井あきら議員の質問項目

- ・生活保護の実施体制の整備
- ・生活保護の被保護者への就労支援等
- ・障害者の就労支援
- ・保育料の改定
- ・循環型社会推進基本計画
- ・道徳教育の推進
- ・山科の観光振興
- ・山科地域の交通問題



京山科なすがモデルのマスコット風船「もてなす君」

自民党が取り組む!

各行政区選出の自民党市会議員は、地域に密着した様々な事業を実現してまいりました。今後とも、地域の皆様のご要望にお応えできるよう取り組んでまいります。

21年度

地域に密着、実現した主な施策と事業

行政区別

北区



小林正明 加地 浩 山本恵一

- ▼御園橋架け替え工事と御園橋西詰五差路及び上賀茂神社への周辺道路整備
- ▼西賀茂自転車駐車場供用開始
- ▼雲ヶ畑マップ・観光案内図版設置

上京区



中村三之助 寺田一博

- ▼撮っておき上京!~私の選んだベストプレイス~(上京区散策マップの作成)
- ▼総合庁舎整備基本計画策定
- ▼歴史的街並再生事業(上七軒歌舞練場改修)

左京区



巻野 渡 大西 均

- ▼北白川・修学院第二・明德児童館開館
- ▼新左京区総合庁舎の建設工事着工
- ▼幡枝御反田・洛北第三地区3号公園完成

中京区



加藤盛司 津田大三

- ▼世界遺産・二条城ウエディング開催
- ▼御射山公園地下自転車等駐車場供用開始
- ▼京都堀川音楽学校開校

東山区



内海貴夫

- ▼放置されている空家対策
- ▼本町通(七条通以南)のバリアフリー化と歩道確保
- ▼歩いて楽しい東大路通歩行空間創出事業

山科区



富 きくお 吉井あきら

- ▼京都観光一日乗車券【山科・醍醐拡大版】発行
- ▼西野児童館開館
- ▼京都・やましの観光ウィーク「恋の地・平安浪漫(ロマン)の路(みち)in勧修寺(かじゅうじ)・随心院(ずいしんいん)」の実施

下京区



下村あきら

- ▼七条第三児童館開館
- ▼歩いて!下京スタンプラリー&下京門前町ルネッサンス
- ▼梅小路公園野外ステージ完成

南区



田中セツ子

- ▼京都市消防活動総合センターの運用開始
- ▼春日公園開園(再整備)
- ▼唐橋児童館開園

右京区



井上与一郎 田中英之 山元あき.

- ▼JR嵯峨嵐山南口駅前広場の公衆トイレの新設
- ▼京都市太秦児童館の移転整備
- ▼七条通~葛野西通の整備

西京区



田中明秀 西村義直

- ▼桂徳児童館整備
- ▼松尾駅自転車等駐車場(仮称)供用開始予定
- ▼バス停(境谷大橋)の利用改善

伏見区



高橋泰一朗 繁 隆夫 橋村芳和

- ▼京阪本線淀駅付近の下り線高架化完成
- ▼伏見区総合庁舎オープン
- ▼伏見地域介護予防センター開設

おかげさまで議員団ニュース30号

これからも皆様に自民党市会議員団の調査活動報告をわかりやすくお伝えいたします。

〒604-8571 京都市中京区河原町御池
自民党京都市会議員団
jimin3@nifty.com FAX.257-3091

皆様のご意見・ご要望をお寄せ下さい